

一 般 質 問 通 告 事 項

(平成29年第1回白岡市議会定例会)

第1通告者 13番 石原富子 議員

1 学童保育の指定管理移行について

平成30年度から学童保育が指定管理に移行する。

これまで支援員の処遇や安全管理体制など、色々な課題があったが、指定管理になることで何が変化し、解決するのか伺う。

- (1) 利用する子供たちにとってどのようなメリットがあるか。
- (2) 職員のありかた等について。
- (3) 保護者にとってのメリットは何か。
- (4) 業者の選定基準のポイントは何か。

2 公契約条例の策定について

公共工事や公共サービスの入札について、これまで“安ければよい”という風潮があり、下請け孫請け業者が元請けとの契約額が下げられ、賃金労働条件の劣悪や雇用不安、そして担い手不足などが社会問題化している。これを解消する手段として「公契約条例」が全国的に策定されている。

- (1) この社会問題をどのように認識しているか。
- (2) 白岡市も建設関係や指定管理者制度導入で入札が行われているが、現況はどうか。
- (3) 白岡市も「公契約条例」を策定し、関係業界の賃金労働条件を守ることを重要と考えるがどうか。

3 市の材木利用の方針策定について

平成27年6月に建築法の改正があり、大規模な建築物が木造で建てやすくなった。

埼玉県でも県産木材の利用の推進をしているが、方針を策定している自治体は未だ51%である。

- (1) 材木利用に関する方針策定についてどのように認識しているか。
- (2) 白岡市でも県産木材の利用方針の策定を行うべきと考えるかどうか。

第2通告者

8番 遠藤 誠 議員

1 農家世帯状況調査票について

- (1) 調査票は何通出しているか。
- (2) 票の設計は委員会がしたのか、諮ったのか。
- (3) 全国農地ナビについて。

2 先の市長選への異議申し立てについて

この事態に委員会の責任は。

3 監査の範囲拡大は

補助金などの受け手まで監査の拡大が必要では。

4 議員等の報酬改定について

報酬の改定は報酬審議会の審議が必須ではないのか。

5 市民活動センターについて

- (1) 現設備が使われていない理由は何か。
- (2) ボランティア団体とどんな調整をしたのか。

6 文化の市民ニーズについて

- (1) 市内及び近隣カルチャースクールとの関わりは。
- (2) 教育振興基本計画第3節社会教育の向上との関わりは。

第3通告者

11番 鬼久保 二郎 議員

1 市道の維持管理について

宇都宮線小久喜踏切と論証踏切の線路東側の市道の維持管理を今後どう考えているか。

2 災害に備えての庁舎の非常用電源について

災害発生後、72時間を過ぎると人命の生存率が大きく下がるとされている。

内閣府は人命救助など活動を行えるよう災害対応の拠点となる施設の非常用電源を少なくとも72時間確保することを

求めている。市の現状と今後の計画は。

第4 通告者

14番 大倉 秀夫 議員

1 南小通学路の変更と市道舗装について

手押し信号を横断する交差点の交通量が非常に多く危険性もあるので、大山商店脇から南小北側校門への直線道路に変更できないか。また、この道路の舗装予定はないか。

2 千駄野医院前の水路へ蓋かけ設置を

千駄野医院前の道路は交通量が増え、歩行者への危険も増している。この道路脇の水路の上に蓋かけなどして歩道として整備をする予定はないか。

3 白岡駅東口ロータリー、タクシー駐車場の改善について

東口ロータリーのタクシーヤードには駐車スペースに余裕があると思われる。一般車両の朝晩の送迎、バス等の送迎で混雑が見られる。駐車スペースの整備の考えはないか。

第5 通告者

2番 渡辺 聡一郎 議員

1 市政の「みえる化」推進を

- (1) 行政評価の実施と公開について伺う。
- (2) 利用者目線に立った公式サイトの運営を。(ユーザビリティと情報管理体制について伺う。)
- (3) オープンデータの取組について伺う。

2 受動喫煙対策とタバコのポイ捨て防止を

駅周辺の受動喫煙対策とタバコのポイ捨て防止が急務と考えるが、今後の取組は。

3 圏央道と経済活性化について

- (1) 成田空港方面が開通し新たな可能性が広がるが、市はどのように考えているか。
- (2) 西部産業団地の現状は。(稼働率、市内経済効果、従業員数、市内雇用数)
- (3) 今後の企業誘致の取組は。また地域活性化と結びつける視点は。

第6 通告者

3 番 関 口 昌 男 議員

1 白岡市に働く労働者の労働環境等の改善を

- (1) 残業時間短縮の動きに対する市の考えについて。
- (2) 職員の残業の実態について。
- (3) 職員の再任用について。
- (4) 育児休業等の体制と取得状況について。
- (5) 臨時職員等の待遇改善の考えについて。

2 学童保育所の指定管理者制度の導入について

- (1) 学童保育所に常勤職員の配置を。
- (2) 学童保育料等の減免処置の導入を。
- (3) 障がい児の受け入れ検討を。
- (4) 国や県の補助制度の活用を。
- (5) 現在の職員の雇用の継続を。
- (6) 指定管理者の選定に当たっては、総務省自治行政局長の通知などを参考に。
- (7) 市長にこの取組についての決意を伺う。

第7 通告者

9 番 黒 須 大 一 郎 議員

1 窓口サービスの向上について

- (1) 現在の有効な住基カード発券数と発行済マイナンバーカード数は。
- (2) 駅前連絡所の人件費を含めた総経費は年間いくらか。
- (3) 住民票の写し等が取得可能なコンビニ交付サービス実施への経費推定額は。
- (4) 本年7月から本格稼働開始されるマイナポータルの活用は。
※子育てワンストップサービスやその他の活用など
- (5) 満足度の高い窓口サービスの提供を図るため、高度な接客水準、技術力やネットワーク、蓄積されたノウハウを持った民間団体等への委託は。また、総合窓口の検討を進めているのか。

※28年2月の市行財政改革推進大綱より

2 新たな子育て支援について

共稼ぎ世帯や母子、父子世帯の頑張っている世代への支援事業として

(1) 妊産婦アクセス支援を。

※タクシー券や交通費の支給など

(2) 政府の宅配ボックス設置補助事業に積極的に協調支援してみ
ては。

※駅の自由通路等の市有地に

3 人材育成について

(1) 入庁後10年以内の退職者数とその理由。

(2) 職員研修は、どのような研修が行われているのか。また、研修
時期、参加者数、費用など詳細とその成果、効果は。

(3) クリエイティブ人材の途中採用や企業連携で人材育成や人事
交流の考えは。

※広報、宣伝、映像などのコンセプターやデザイナー

4 土地利用について

見直しにより、どのように施策展開を図っていくのか。

(1) 篠津北東部といわれる地域は、今二つのグループ企業から土地
利用、開発について説明など関係者が接触を受けている。市は、
現状をどのくらい把握しているのか。

(2) かつてご答弁で、本地域の広さは61.5haで課税面積は48
haとし残り13.5haは道路・水路等非課税の土地としている。
実に22%程が市有地となるが、実情と比べいわゆる縄のび分が
相当数あると考えられる。各企業グループの動向にもよるが、関
係地権者が困窮しないよう、当該企業に対してしっかりとした指
針を示すべきでは。

第8通告者

15番 江原浩之 議員

1 新たな産業団地建設について

(1) 白岡西部産業団地を造成したことによるメリット、デメリットは。

(2) 新たな産業団地建設に取り組む考えはないか。

2 オータムフェス開催について

- (1) 毎年11月頃に開催している各団体、行政などのお祭りの来客者状況について。
- (2) 今後、各団体同時開催して、オータムフェスティバルを実施する考えはないか。

第9 通告者

7 番 大 島

勉 議員

1 新白岡駅周辺の開発について

- (1) 新白岡駅周辺の状況を市はどう把握しているか。
- (2) 駅前中央スペース整備計画の進捗状況は。
- (3) 今後の計画は。また、いつまでにできるのか。
- (4) 新白岡駅東西口駅前道路の延伸について。

2 集会所の老朽化への対策は

- (1) 各地域の集会所で、特に20年以上経過している集会所の状況について伺う。
- (2) 床が傷んだり、トイレが旧式のものなどの改修の予定は。
- (3) 今後について。

3 地域福祉と地域コミュニティについて

- (1) 地域福祉計画策定後の現状について伺う。
- (2) 今後の周知・実行に向けた具体的な取組について伺う。

第10 通告者

16 番 菱 沼

あゆ美 議員

1 「我が事・丸ごと」の地域ケアについて

住み慣れた地域で、最期まで笑顔で暮らすことができるように、行政のみならず、地域住民の参画と協働による共生社会「我が事・丸ごと」の地域づくりが示された。以下を問う。

- (1) 切れ目のない子育て支援の拠点となる「子育て世代包括支援センター」について、どのように取り組まれるのか。
- (2) 市の在宅医療・在宅介護の現状として、在宅で医療・看護・介護を受けている人の人数の把握はされているか。また、在宅医療を行っている医療機関を把握されているか。

- (3) 在宅医療の医療機関や担当部署の連携など、どのように取り組んでいるのか。
- (4) 市民への在宅医療の具体的な周知・啓発が必要と考える。講演会やセミナーを持続的に、また家族で参加できるような開催をしているかどうか。
- (5) この「我が事・丸ごと」の地域づくりを、市として今後どのように取り組んでいくのか。

2 防災・減災の取組について

- (1) 市内の防災訓練の参加人数の推移は。
- (2) 子どもや学生も参加しやすいゲームや競技を盛り込んだ防災訓練を実施してはどうか。
- (3) 防災教育についての考えや、実施状況を伺う。児童・生徒の協力で、地域の防災力があげられるのではないか。
- (4) 障がい者も参加できる防災・避難訓練の実施が必要ではないか。
- (5) 障がい者や外国人などとの意思疎通のために、コミュニケーション支援ボードを作り、避難所に配備してはどうか。
- (6) 地震による電気火災（通電火災）を防ぐものとして、感震ブレーカーがある。他の自治体や地域で設置の推進や補助が行われているが、市としての考えは。

3 高次脳機能障がい者の支援について

- (1) 高次脳機能障がいの診断を受けている人数は。また、相談体制や支援体制はどのようになっているか。
- (2) 市民への周知・啓発が必要ではないか。

第11通告者

4番 斎藤信治 議員

1 空き家対策について

- (1) 空き家データベースの作成状況は。
- (2) 空き家データベースの利用方法は。
- (3) 危険な空き家の特定空家としての指定状況は。
- (4) 解決までの予定・計画は。

2 視覚障がい者の支援について

- (1) 視覚障がい者の実情は。
- (2) 福祉サービスの代理受付は可能か。
- (3) 視覚障がい者が出かけられる「人に優しいまち」の取組を。
- (4) テープサービスを利用するために、機器の貸与を。
- (5) 利用者を拡大するために。
- (6) 視覚障がい者に、情報を届けるために。

3 白岡市をスポーツのまちに

- (1) 地域スポーツクラブの創設を。
- (2) 派遣選手に厚い補助を。
- (3) 白岡新春マラソンを冬まつりに。

4 成人式の再考を

新成人に企画を促したらいかがか。

第12通告者

17番 高木隆三 議員

1 食品ロスについて

- (1) 白岡市においても、学校・保育所・教育施設など啓発に取り組むべきと思うが考えを伺う。
- (2) 家庭や飲食店等における、市民、事業者が一体となった取組が必要と思うが考えを伺う。
- (3) 災害備蓄食品をフードバンク等への寄附を検討してはどうか。

2 介護離職ゼロへの取組について

- (1) 当市の現状と取組は。
- (2) 介護SOSサービス事業の実施を。

第13通告者

6番 細井 公 議員

1 市街地における排水溝の整備について

排水溝と道路との段差がある場所や通行区分を変える場所等があり、つまずき、けがをすることがある。改修すべきだと思うが市はいつそれを改修するか伺う。

2 カーブミラーの管理について

角度や見にくい場所（カーブミラー）等の対策は。

1 施政方針について

平成29年度市政運営に関する基本的な考え方及び予算案について。

- (1) 少子高齢化対策、地域経済対策など市が取り組むべき課題のほか公共施設の長寿命化、老朽化対策など新たな課題も抱えているとあるが、対処の具体策は。
- (2) 「平成28年の地方からの提案等に関する対応方針」の閣議決定を評価しているが、何か提案はしたのか。
- (3) 今こそ地域本位、住民本位で考える発想とあるが、今までと違うのか。
- (4) 平成28年度に言及された6次産業推進事業、特産品開発事業などはどの程度進展しているのか。
- (5) 「魅力あるまちづくりの実現」のための施策として、新たな土地利用や大山地区・菁莪地区の活性化、生涯学習施設の整備などハード事業が多く述べられているが、少子化対策、働くママの子育て支援策、高齢者支援策などソフト事業はどのようなものがあるか。

2 篠津北東部地域における大規模農地利用事業について

- (1) 農業法人（株式会社）によるこの事業計画について、市はどの程度把握しているのか。
- (2) この事業計画を市はどのように考えるか。可能性は。
- (3) 当該地域は、農業ゾーンでありながら一方で総合振興計画では農業との調和を図りながら計画的開発を検討すると記述してある。市はどのようなすみわけを考えているのか。